発行責任者 佐藤英樹

緑の風 NEWS

JR東労組

JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union　2023年 6月 16日 No. 4

JR総連・各単組の仲間からも

豊田運輸区で発生した人間破壊の強制転勤

連帯の声が届く！

ＪＲ総連通信
2023年6月15日 №1658
全日本鉄道労働組合総連合会（ＪＲ総連） http://www.jr-souren.com

ＪＲ東日本会社の人間破壊の強制転勤は許さない！

■豊田運輸区で発生した「人間破壊」の「強制転勤」の経過

【駅での心身異常と運輸区での心身状態の回復】豊田運輸区の組合員Ａさんは、駅での人間関係で心身状態に異常が発生し、駅での就業が困難となりました。当時の保健師や産業医からは「駅と言う環境・働き方が原因」「解決のためには環境・働き方を変えなくては」と話がされました。その後、運輸区へ異動し、心身状態は回復へ向かいました。運輸区では「駅での心身不調」や「持病」を産業医にも相談し、自己申告書に記載し、面談でも報告していました。

【突然の駅への異動指導で心身異常の再発】しかし、2023年5月13日、退区時間に管理者が待ち構え、突如、駅への異動の話がされました。管理者は「サラリーマンなんだから、人事なんだから」「それが無理なら自宅療をやるしかない」とＡさんに迫り、Ａさんは「人生が壊されてしまう、駅にお勤できるとは思えない、出勤できない」と述べました。その後、Ａさんは駅での心身状態の異常がフラッシュバクし、「生きていける自信がない」と精神的に追い込まれ、まともに食事もできない状態になりました。そして、5月13日以降、出勤できない状況となり会社を休みました。

【乗務を途中で降ろした「事前通知」と人間を破壊する管理者の言動】6月1日、管理者から電話で異動の通知は無くなったと連絡を受け、6月3日に出勤しました。しかし、乗務途中に指令から連絡があり区に戻るように指示がされました。そして、区に戻ると管理者より事前通知が（6/15発令）が手交されました。Ａさんは、突然の事で持病の混乱症状が発症しました。その症状を見た管理者は「また演技みたいにして！おかしいふりをするのはやめろ、勤務いやなと発言。Ａさんは、駅では働けないと必死で訴えるも、管理者は「私は異動の指示を受けて組を遂すのが仕事」「病気のことは、不服申し立てれば良い」「何があっても事前通知を遂す」と述べ、混乱症状が発症するＡさんに対して「なんだ！その態度は！」「勤務がいやな！」と恫喝をだけました。

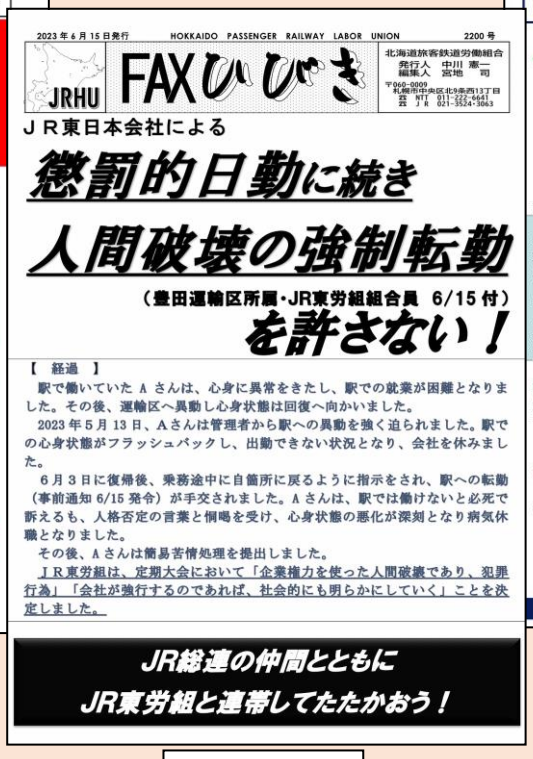
【心身状態の悪化が深刻となり、病気休職へ】その後、Ａさんは、簡易苦情処理を提出し、JR東労組八王子地本は、「事前通知」の取消を求め申第9号緊急申し入れを申し入れましたが、Ａさんの心身状態の悪化が深刻となり、病院で受診したところ「三ヶ月間の休職」が必要と判断されました。診断書には過去に心身状態の異常を起こした職場環境への異動の話が出たことで当時の症状が再発したこと、復職にあたっては、駅勤内の業務への異動は避ける配慮を要することが記載されました。Ａさんはこの診断書を会社に提出し、病気休職となっていますが、現在も心身状態の悪化に苦しんでいます。

JR東労組「緑の風NEWS」No.1より引用

ＪＲ東労組は６月１２日に開催した「第４２回定期大会」で、「豊田運輸区で発生した人間破壊の強制転勤が強行された場合、社会的に明らかにしたたかう!!」ことを明らかにしています！

ＪＲ総連はＪＲ東労組と連帯し、ＪＲ総連推薦議員懇談会やあらゆる団体・有識者等、全国の仲間と共にたたかいます!!

ＪＲ総連



2023年6月15日発行　HOKKAIDO PASSENGER RAILWAY LABOR UNION　2200号

JRHU FAXひびき

北海道旅客鉄道労働組合
発行人 中川 憲一
編集人 宮地 司
〒060-0808
札幌市中央区北8条西13丁目
TEL 011-222-6661
FAX 011-5524-5043

ＪＲ東日本会社による

懲罰的日勤に続き

人間破壊の強制転勤

（豊田運輸区所属・JR東労組組合員 6/15付）

を許さない！

【 経過 】

駅で働いていた Ａさんは、心身に異常をきたし、駅での就業が困難となりました。その後、運輸区へ異動し心身状態は回復へ向かいました。

2023年５月13日、Ａさんは管理者から駅への異動を強く迫られました。駅での心身状態がフラッシュバックし、出勤できない状況となり、会社を休みました。

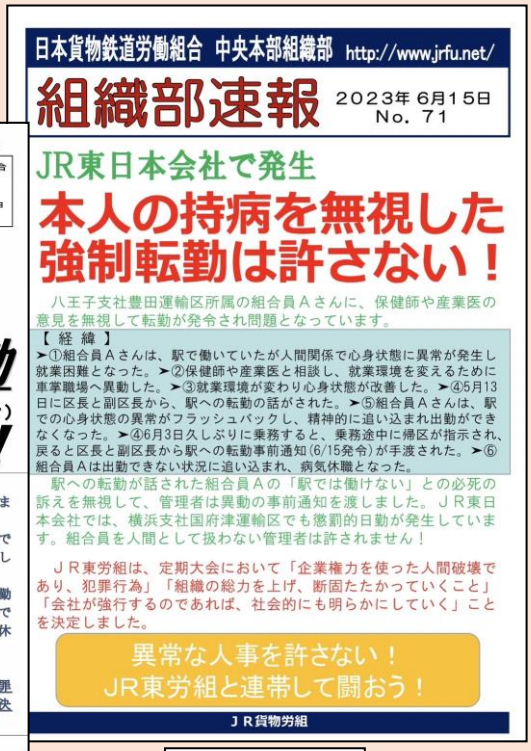
６月３日に復帰後、乗務途中に自箇所に戻るように指示をされ、駅への転勤（事前通知 6/15 発令）が手交されました。Ａさんは、駅では働けないと必死で訴えるも、人格否定の言葉と恫喝を受け、心身状態の悪化が深刻となり病気休職となりました。

その後、Ａさんは傷害苦情処理を提出しました。

ＪＲ東労組は、定期大会において「企業権力を使った人間破壊であり、犯罪行為」「会社が強行するのであれば、社会的にも明らかにしていく」ことを決定しました。

JR総連の仲間とともに
JR東労組と連帯してたたかおう！

ＪＲ北海道労組



日本貨物鉄道労働組合 中央本部組織部 http://www.jrfu.net/

組織部速報 2023年 6月15日 No. 71

JR東日本会社で発生

本人の持病を無視した強制転勤は許さない！

八王子支社豊田運輸区所属の組合員Ａさんに、保健師や産業医の意見を無視して転勤が発令され問題となっています。

【 経 緯 】

➤①組合員Ａさんは、駅で働いていたが人間関係で心身状態に異常が発生し就業困難となった。➤②保健師や産業医と相談し、就業環境を変えるために車掌職場へ異動した。➤③就業環境が変わり心身状態が改善した。➤④5月13日に区長と副区長から、駅への転勤の話がされた。➤⑤組合員Ａさんは、駅での心身状態の異常がフラッシュバックし、精神的に追い込まれ出勤ができなくなった。➤⑥6月3日久しぶりに乗務すると、乗務途中に帰区が指示され、戻ると区長と副区長から駅への転勤事前通知（6/15発令）が手渡された。➤⑥組合員Ａは出勤できない状況に追い込まれ、病気休職となった。

駅への転勤が話された組合員Ａの「駅では働けない」との必死の訴えを無視して、管理者は異動の事前通知を渡しました。ＪＲ東日本会社では、横浜支社国府津運輸区でも懲罰的日勤が発生しています。組合員を人間として扱わない管理者は許されません！

ＪＲ東労組は、定期大会において「企業権力を使った人間破壊であり、犯罪行為」「組織の総力を上げ、断固たたかっていくこと」「会社が強行するのであれば、社会的にも明らかにしていくこと」ことを決定しました。

異常な人事を許さない！
JR東労組と連帯して闘おう！

ＪＲ貨物労組

ＪＲ貨物労組

JR東労組は連帯する全ての仲間と共に闘います！

人間破壊の強制転勤を許すな!!